

2016年工(A) 第2問

2  $k, a, b, c$  を実数とする。 $x$  の4次式  $x^4 - 4x^3 + 5x^2 + kx - 8$  を因数分解すると

$$(x^2 + ax + 4)(x^2 + bx + c)$$

となる。このとき、

-2

- (1)  $c = \boxed{\text{ケコ}}$  である。-3  
(2)  $a < b$  ならば、 $a = \boxed{\text{サシ}}$ ,  $b = \boxed{\text{スセ}}$  であり、このとき  $k = \boxed{\text{ソ}}$  となる。  
 $a \geq b$  ならば、 $a = \boxed{\text{スセ}}$ ,  $b = \boxed{\text{サシ}}$  であり、このとき  $k = \boxed{\text{タチツ}}$  となる。  
(3)  $(x^2 + ax + 4)(x^2 + bx + c) = 0$  を満たす正の実数  $x$  は、 $a < b$  のときは、 $\boxed{\text{テ}}$  であり、 $a \geq b$  のときは、 $\boxed{\text{ト}} + \sqrt{\boxed{\text{ナニ}}} \boxed{\text{ヌ}}$

-10

2

である。

(1) 因数分解された式を  $f(x)$  において、展開すると

$$f(x) = x^4 + (a+b)x^3 + (c+ab+4)x^2 + (ac+4b)x + 4c$$

これと、 $f(x) = x^4 - 4x^3 + 5x^2 + kx - 8$  の定数項を比べて、 $4c = -8 \quad \therefore \underline{c = -2}$

(2) 他の項もそれぞれ比べると、 $c = -2$  より

$$\begin{cases} a+b = -4 \\ ab+c+4 = 5 \\ ac+4b = k \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} a+b = -4 \\ ab = 3 \\ -2a+4b = k \end{cases}$$

解と係数の関係より、 $a, b$  は  $x^2 + 4x + 3 = 0 \quad \therefore (x+3)(x+1) = 0 \quad \therefore x = -3, -1$

$a < b$  ならば  $a = -3, b = -1$  このとき、 $k = 2$

$a \geq b$  ならば、 $a = -1, b = -3$  このとき、 $k = -10$

(3)  $a < b$  のとき、 $\underline{(x^2 - 3x + 4)(x^2 - x - 2) = 0} \quad \therefore x > 0$  より  $\underline{x = 2}$   
 $x^2 - 3x + 4 = 0$  は実数解なし

$a \geq b$  のとき、 $\underline{(x^2 - x + 4)(x^2 - 3x - 2) = 0} \quad x > 0$  より  $x = \frac{3 + \sqrt{17}}{2}$   
 $x^2 - x + 4 = 0$  は実数解なし